

開講式あいさつ資料

9:30 ~ 9:50

栃木刑務所

株式会社 開倫塾

代表取締役社長 林 明夫

1. はじめに

- (1)おはようございます。私は、このクラスを担当する先生方のいらっしゃる開倫塾という学習塾の代表の林と申します。今日は、初めての授業なので開講式のごあいさつに参りました。よろしくお願いいたします。
- (2)今、私と3人の先生方はマスクをしています。これは、新型インフルエンザが流行っていますので、それをこの刑務所の中に持ち込まないためです。マスクをしてお話することをご了承下さいね。
- (3)皆様はこれから3か月間毎週1回このクラスで勉強をされますので、どうしたらよく勉強ができるかを、今から20分間お話をさせていただきますのでお聴き下さい。

2. 目標をもって勉強しよう

- (1)短い期間ではありますが、勉強するときには目標をもつことが大切です。次のような目標をもってこのクラスで勉強して頂ければ素晴らしいと私は考えます。
 - 図書室のいろいろな本がよく読めるようになること
 - 新聞がよく読めるようになること
 - 計算がよくできるようになること
 - しつけ(躰)、つまり美しい立居振舞いと敬語表現を含む言葉遣いを身につけること
 この4つの目標を目指し、このクラスで勉強して下さいね。

3. 勉強の仕方を身につけよう

勉強を進めるときには、次のような3つの段階に分けて勉強の仕方を工夫すると素晴らしい効果が生まれます。このクラスを通して、1つ1つの段階にふさわしい勉強の仕方を身につけて下さいね。

- (1)うんなるほどとよくわかる、腑に落ちること(理解)
 - 勉強をするときに一番大切なのは、今勉強していることをうんなるほどとよくわかることです。腑(ふ)に落ちることです。よく理解することですね。

そのためにはどうしたらよいか。まずは先生のお話をよく聞いて下さいね。教科書や教材をゆっくりでいいですから、自分の力でよく読んでみて下さいね。

そして、よくわからないことがあれば遠慮(えんりょ)なせずに、これはどういうことですかと先生に質問して下さい。わからないままにしないことが大切です。

自分で勉強するときには、わからないことばに会ったときには、どんどん辞書(じしょ)を引く、利用することも大事です。図書室に辞書があるようですので、是非辞書をたくさん利用して下さいね。

このように、まずはうんなるほどと「理解」することが大切です。

- (2)うんなるほどとよくわかったことをきちんと身につけること、覚えてしまうこと(定着)
うんなるほどとよくわかったら、次に何をしたらよいでしょうか。うんなるほどとよくわかったことでも、時間がたつとその多くを忘れてしまいます。ではどうしたらよいでしょうか。うんなるほどとよくわかったことを忘れないように、身につけるための練習をすることが大切かと思います。練習には3つあります。

まず第1は、「声を出して読む」こと、「音読(おんどく)」です。一度うんなるほどとよくわかったことを、何回も、何十回も声を出して読んでみて下さい。

(ア)新しいところを勉強する前に、前回までに、つまり今まで勉強したところを声を出して何回も読むと、今までの勉強でうんなるほどとよくわかったこと、理解したことが身につきますし、また、新しいことを100%理解するのにとても役立ちます。

(イ)私には弁護士をしていた弟がおりましたが、その弟は司法試験を受ける勉強をしているときに、法律の教科書を声を出してよく読んでいました。教科書の新しいページを勉強するときには、1ページからその前のページまでを一度声を出して読んでから勉強すると、新しい内容は100%よくわかるものだと私に話しておりました。

(ウ)一度うんなるほどとよくわかったことを声を出して読むことは、勉強したことを身につけるのにとても役立ちます。是非やってみて下さいね。

声を出して読む練習の次にやった方がよいのは、書き取り練習です。

(ア)ちょっと書くことが難しいなと思う言葉は、何回も、何回も書き取り練習をしてみましょう。

(イ)漢字の書き取り練習をするときには、「書き順」にも気をつけましょうね。

(ウ)近くに紙やえんぴつがなければ、手の平に書く練習をしましょう。練習さえすれば、難しい言葉でもいくらでも覚えられますよ。

(エ)英語を勉強している人は、書き取り練習をたくさんしてつづり(スペリング)を正確に覚えて下さいね。

身につけるための練習として最後は、「計算練習」「問題練習」です。

(ア)なぜそのような答えになるのか、一度うんなるほどとよくわかった計算や問題は、その計算や問題を見たらパッとその答えが出るよう「計算練習」「問題練習」をすることをおすすめします。

(イ)例えば2に3をたすとはどのようなことか、 $2 + 3 = 5$ という計算の意味がよくわかったら、 $2 + 3$ という計算問題を見たら、その瞬間にバツバツと5という正しい答えが出るようになるまで練習をすると素晴らしいと思います。

(3)うんなるほどと「理解」し、3つの練習によって身につけた「定着」させたことを「実際に使える」、「役立てる」、「応用する」こと。

このクラスで身につけたことをどんどん使い役立ててみるのが大事です。

とりあえず図書室に行き、ちょっと難しめの本を読んだり、辞書に親しむことをおすすめします。新聞も一面からどんどん読んでみて下さいね。

社会に出ると、このクラスで学んだことがどれほど役に立つかわかりますよ。どんどん使ってみて下さいね。

4. 学力を高めるポイント

(1)本をたくさんじっくり読むこと

学力の高い人は、本をたくさん読んでいます。

ただし、本は1回読んだだけではなかなかよくわかりません。同じ本を5～6回読むことをおすすめします。

読んでいて気に入ったところはノートに書き抜き、そのノートを繰り返し読むと自分のものになります。

「書き抜き読書ノート」をつくってみましょう。一生の宝物になります。

本をたくさんじっくり読むと「思慮深さ」が身につきます。自分を振り返る力(省察する力)が身につきます。

(2)「学び方を学ぶ力」を身につけよう

せっかく勉強をするのなら、この勉強を成功させるにはどのようにしたらよいだろうかといつも考えて下さいね。

どのようにしたらよくわかるか、よくわかったことを身につけることができるかを時々考えることが大切です。

このやり方はいいなと自分で考えたら、勇気をもってそれをやってみる。

学び方を学ぶことも大事な能力です。

5 . おわりに - 私の好きなことば -

私の住む足利市出身の書家、相田みつを先生の言葉を開講にあたり皆様にお贈りいたします。

「一生勉強、一生青春」

がんばって下さいね。

以上